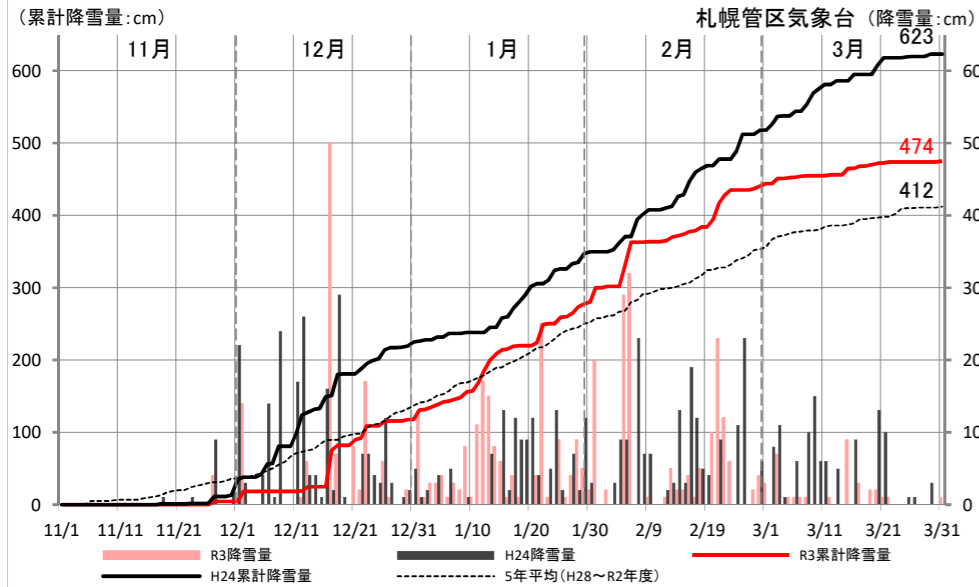


令和3年度 除雪事業の概況

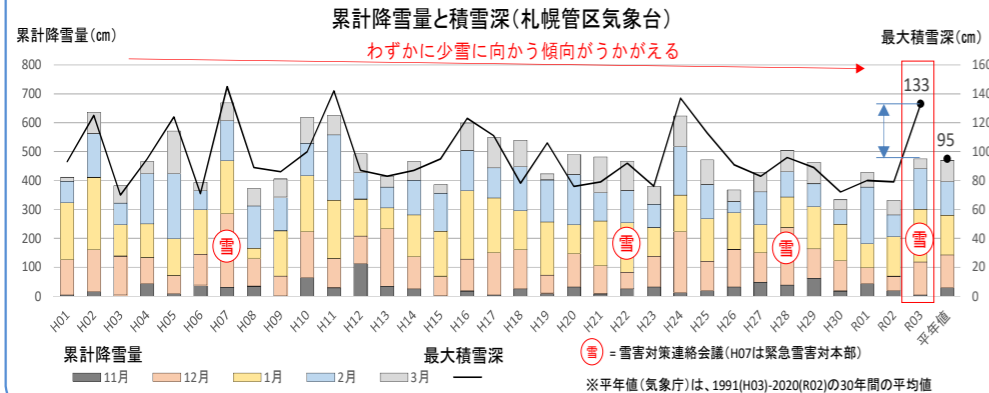
(1) 累計降雪量

R3の累計降雪量は平年並みだったが、日降雪量が20cm以上となった日が6回あるなどまとまった降雪が多く、1月、2月における降雪量は323cmを記録し、H24の293cmを上回った。

- ・日降雪量が20cm以上となった日は6回（H24は6回）であり、30cm以上となった日は2回（H24は0回）だった。
- ・1月、2月の降雪量は、H24の293cmを上回る323cmだった



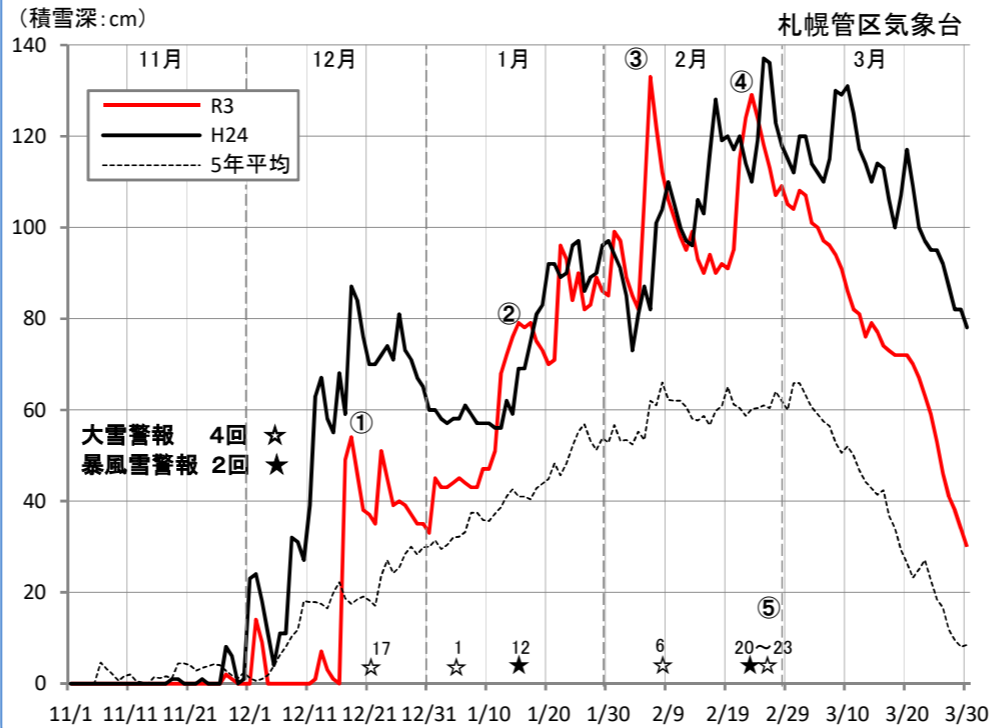
累計降雪量は平成元年以降やや少雪に向かう傾向がうかがえ、R3は累計降雪量と最大積雪深の差が過去にないほど生じていた。



(3) 気象の特徴

R3は統計開始以降最多の24時間降雪量を2度記録するなど、大雪に見舞われる日が度々あった。

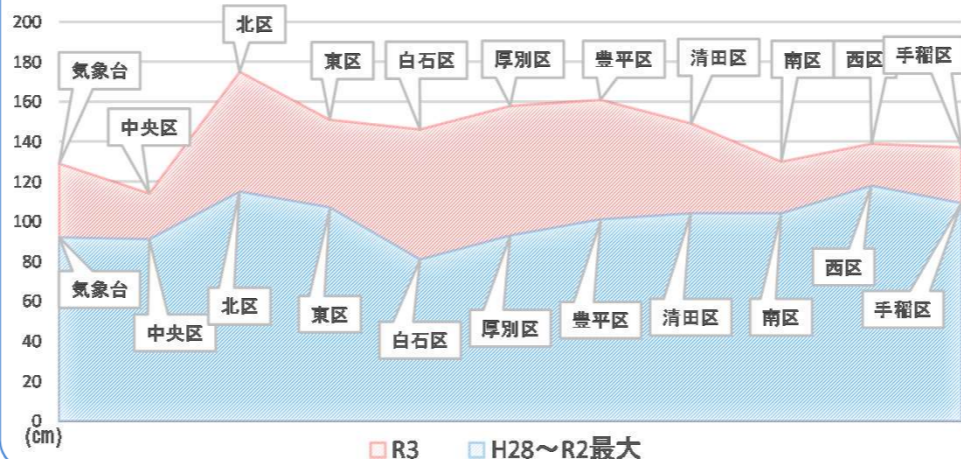
- ①12月18日の24時間降雪量が1999年統計開始以降最多の55cmを記録
- ②1月12～14日の3日間で湿った重たい雪が46cm降った。
- ③2月6日の24時間降雪量は60cmであり、統計開始以降最多を更新、積雪深が8年ぶりに1mを超え、最大積雪深は133cmとなった。
- ④2月21日から3日間で44cmの降雪を記録
- ⑤2月26日の最高気温が8度を記録するなど、気温が大きく上昇



(4) 最大積雪深

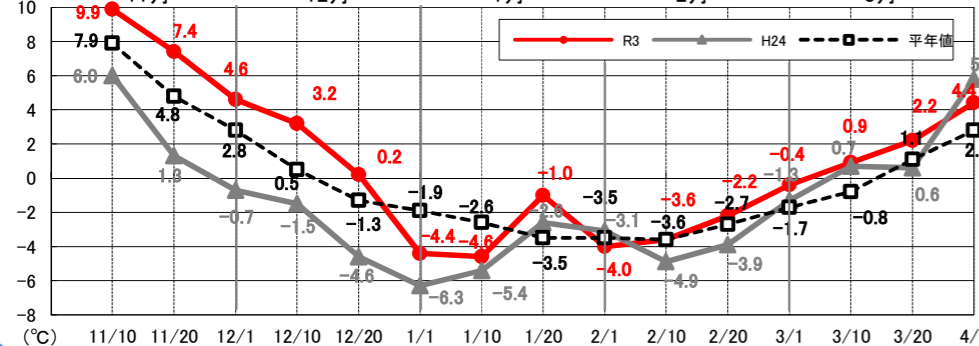
R3は過去5年最大積雪深と比べ市内全域で積雪深が高かった。

	気象台	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区
過去5年最大積雪深	92	91	115	107	81	93	101	104	104	118	109
R3最大積雪深	133	114	175	151	146	158	161	149	130	139	137
過去5年とR3の比率	145%	125%	152%	141%	180%	170%	159%	143%	125%	118%	126%



(2) 旬平均気温

R3の気温は一部の期間で低かったものの、平年より高めで推移した。



(5) 作業実績

R3の作業実績は、除雪作業回数は5年平均を上回ったものの、H24の作業回数を大幅に下回った。

排雪作業・雪処理は排雪量・搬入量ともに5年平均を大きく上回り、大雪だったH24も上回った。

		R3年度実績	5年平均実績	H24年度実績	
除雪作業	車道除雪 (幹線道路)	22.1回 (109%)	20.2回	32.1回	
	車道除雪 (生活道路)	18.2回 (120%)	15.2回	23.9回	
	歩道除雪	17.9回 (103%)	17.4回	27.7回	
排雪作業	運搬排雪 (計画・交差点)	10,920千m ³ (191%)	5,705千m ³	10,019千m ³	
	パートナーシップ排雪 (幅員10m未満)	5,625千m ³ (160%)	3,521千m ³	5,839千m ³	
雪処理	雪堆積場	公共搬入	13,967千m ³ (160%)	8,735千m ³	14,332千m ³
		民間搬入	11,467千m ³ (163%)	7,022千m ³	10,910千m ³
	小計	25,434千m ³ (161%)	15,757千m ³	25,242千m ³	
雪処理施設	公共搬入	2,467千m ³ (250%)	988千m ³	2,357千m ³	

※ ()内は、5年平均比

(除雪作業)

・除雪作業回数は、5年平均を上回ったが、R3は24時間降雪量が55cm・60cmの日があったなどまとまった降雪は多かったものの10cm以上の日が少なかったため、H24を大幅に下回った。

(排雪作業)

・運搬排雪は、5年平均を大幅に上回り、H24を上回った。

・パートナーシップ排雪は、5年平均を大幅に上回ったものの、2月下旬以降の気温が上昇したこと、進捗を早めるための緊急対応として7割程度の排雪としたことなどから、H24をわずかに下回る搬入量となった。

(雪堆積場)

・雪堆積場への搬入量は、5年平均を大幅に上回った。

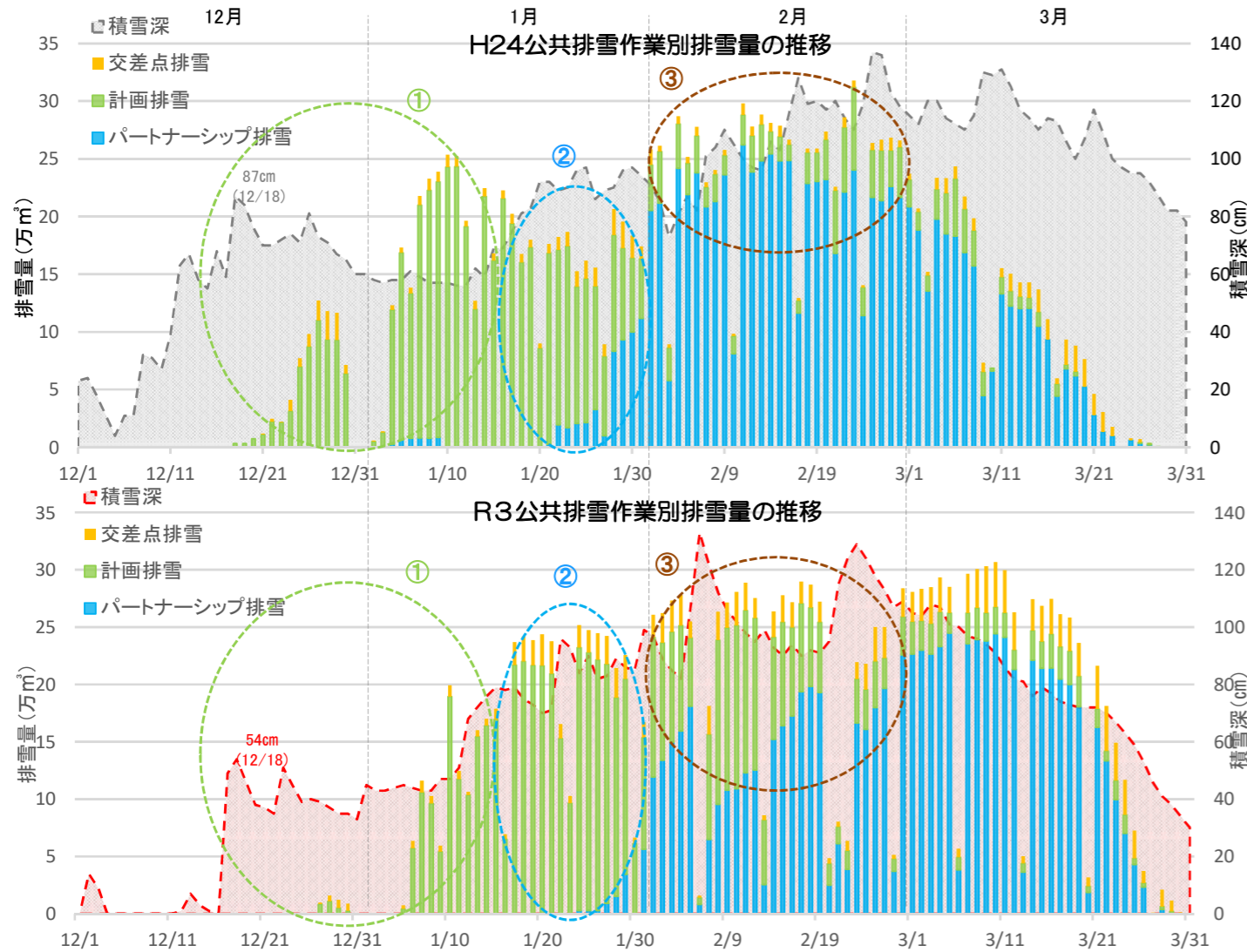
・H24に比べ公共の搬入量が減少したものの、民間の搬入量が増加したことから、H24をわずかに上回る搬入量となった。

※本資料では、過去10年間で最も大雪であった平成24年度を令和3年度の比較対象年度としている。

令和3年度 除雪事業の概況

(6) R3排雪作業状況(H24比)

R3はH24と同水準のダンプ・雪堆積場を確保したが、度重なるまとまった降雪などの影響から、パートナーシップ排雪が3月末ギリギリまでの作業となった。



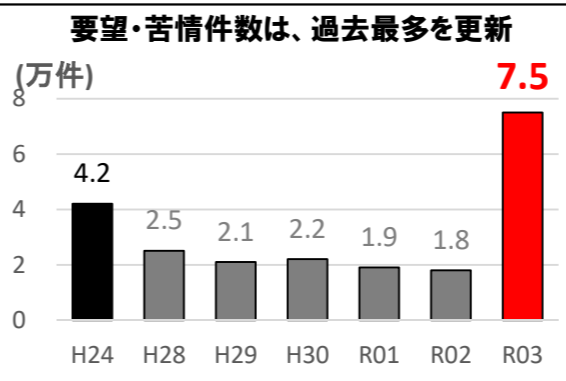
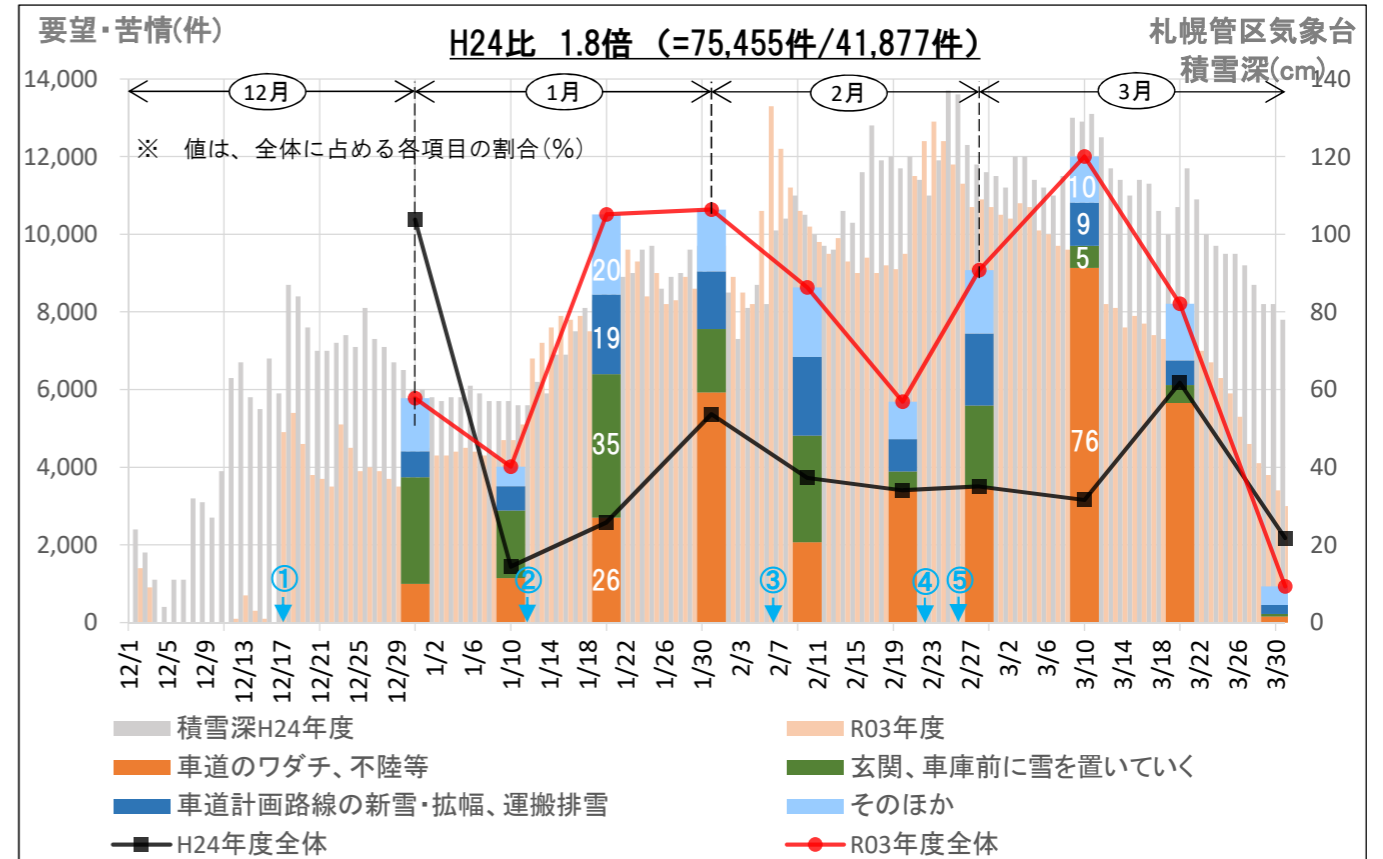
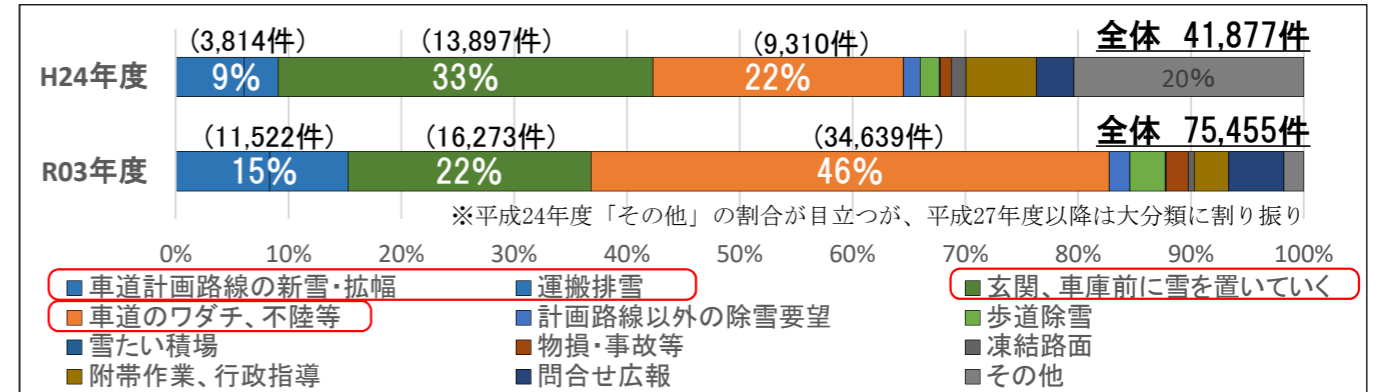
	期間別排雪量(万㎡)					期間別日平均作業進捗(km/日)				
	~1/15	~1/31	2月	3月	シーズン	~1/15	~1/31	2月	3月	シーズン
H24	310	270	690	310	1,580	40	50	87	29	52
R3	130	320	610	570	1,630	28	50	62	70	57
R3-H24	-180	50	-80	260	50	-12	0	-25	41	5

- H24は降り始めが早く12月中旬時点の積雪深が高かったため12月中に計画排雪に着手したのに対し、R3は12月の積雪深が平年より少し高い程度で推移したため、一部の区では計画排雪を前倒したが、本格着手は例年より若干早めの年明け早々となった。
- 1月中旬の降雪に対応し計画排雪の進捗を図るために拡幅排雪としたことから幹線道路の雪山が高く、1月下旬の降雪の影響で再度の作業が必要となり、パートナーシップ排雪を前倒せなかった。
- 2/6の大雪によって幹線道路の作業を優先する必要が生じ、その対応に2週間程度を要したほか、その後の2月下旬の降雪で一時的に一部の地区のパートナーシップ排雪を中断して幹線道路の除排雪を行った。また、この間、幹線道路の渋滞も重なり作業効率が低下し、PS排雪が進まず3月末ギリギリまでの作業となった。(R3の2月の1日当たり平均作業延長はH24に比べ25km減)

(7) 要望・苦情の傾向(全市)

令和3年度の要望・苦情件数は、過去最高であった平成24年度の1.8倍を記録

- 最も要望・苦情が多かったのは「車道のワダチ、不陸等」で、全体の約5割を占めた。
- 平成24年度と比較すると、「玄関、車庫前に雪を置いていく」と「車道のワダチ、不陸等」の割合が逆転した。
- 令和3年度は1月以降の度重なるまとまった降雪に対し、幹線道路の道幅確保などの対応を優先させざるを得なく、後手に回った生活道路等の路面管理に関わる要望・苦情が極端に多くなった。



- 〔グラフに関する補足〕**
- A) 要望・苦情件数に関わるもの
 ※件数は旬計。12/31、1/10、1/20、1/31、2/10、2/20、2/28、3/10、3/20、3/31に集計実施。
 ※12/31の値は、概ね12/1から12/31の件数。
- B) R03年度の気象に関わるもの (グラフ中①~⑤)
- 12/18の24時間降雪量は、1999年統計開始以降最多の55cmを記録。
 - 1/12~14の3日間で湿った重たい雪が46cm降った。
 - 2/6の24時間降雪量は60cmであり、統計開始以降最多を更新。
 - 2/21からの3日間で44cmの降雪を記録。
 - 2/26の最高気温が8℃を記録するなど、気温が大きく上昇。

※本資料では、過去10年間で最も大雪であった平成24年度を令和3年度の比較対象年度としている。